

開講日	2019年秋期 火曜日 18:30-20:00	講義場所 受講資格	病院西棟1階 臨床シミュレーションセンター 実習あり	定員	25-35名程度
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 先進急性期医療学 教授 笹野寛				

科目概要 および 期待される 成果	【概要】 急性期医療・災害医療などの緊急事態に対応する知識や様々なスキルを講義および体験型実習形式で学びます。 【期待される成果】 急性期医療・災害医療の現場で利用できるスキルと知識を得ることで、緊迫した状況でも慌てず自分の力を発揮でき、緊急の現場で円滑なチーム医療を提供できるようになることを目指します。				
目標とする 資格					

L-1	1	フィジカルアセスメント	救急診療に必要な身体診察技法について学びます。	9月3日	部長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-1	2	心肺蘇生法と除細動器1	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際の、マネキンを使って体験学習します。	9月10日	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-2	3	心肺蘇生法と除細動器2	成人に対する一次救命処置(BLS)として、心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際の、マネキンを使って体験学習します。	9月17日	部長 服部友紀(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-3	4	気道管理法	用手および器具を使った気道確保・管理法や、窒息傷病者に対する緊急処置を体験学習します。	9月24日	部長 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-2	5	アナフィラキシーショック	アナフィラキシーショックに対応するためのエピペン(アドレナリン)の使用などについて学びます。	10月1日	部長 笹野 寛(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-3	6	脳卒中の初期治療	脳卒中患者の救急外来における標準化された初期診療について講義形式で学びます。	10月8日	副部長 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学病院 神経内科
L-4	7	てんかん・神経疾患	脳卒中以外で救急外来を訪れることの多い、神経疾患について講義形式で学びます。	10月15日	副部長 三浦 敏靖(実務家教員) 名古屋市立大学病院 神経内科
L-5	8	急性冠症候群の初期治療	急性心筋梗塞や狭心症など、いわゆる急性冠動脈症候群の初期診療について講義形式で学びます。	10月29日	医師 武田 裕(実務家教員) NTT西日本東海病院
L-6	9	災害医療体制	予想される東南海トラフ地震などに備えた災害医療における我が国の医療体制について講義形式で学びます。	11月5日	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-7	10	急性腹症の鑑別	救急外来で頻繁に見かける腹痛の鑑別疾患について講義形式で学びます。	11月12日	講師 兼松 孝好(実務家教員) 名古屋市立大学病院総合内科
L-8	11	外傷の初期対応 (胸部・腹部・骨盤外傷など)	外傷に対する初期対応について講義形式で学びます。	11月19日	副部長 山岸 庸太(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
S-4	12	災害時におけるトリアージ	災害時に必要なトリアージについて模擬患者での体験学習をします。	11月26日	清水 真名美・寺西 幸子 名古屋市立大学病院 病棟看護師長・救命救急センター看護師
L-9	13	精神疾患の対応	急性期医療などにおける精神疾患および精神的な対応に関して講義形式で学びます。	12月3日	宮崎 ゆか(実務家医師) 名古屋市立大学病院救急科・こころの医療センター
L-10	14	中毒・熱傷の管理	救急診療に必要な中毒および熱傷の管理方法について学びます。	12月10日	部長 松嶋麻子(実務家教員) 名古屋市立大学病院救急科
L-11	15	小児科救急疾患	小児科領域の救急疾患とそのプライマリーケアについて講義形式で学びます。	12月17日	助教 今井 一徳(実務家教員) 名古屋市立大学病院 救急科

S: シミュレーション(実習)形式 L: 講義形式 D: 双方向議論形式